

## 市内景気動向調査結果

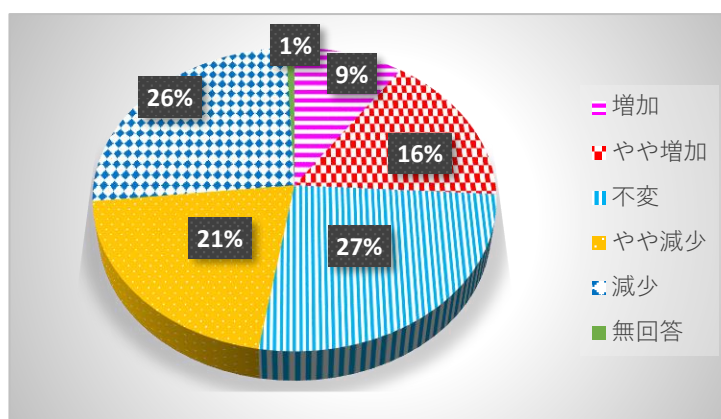
この調査は、第3四半期（本年10月から12月）と前年の同期間（3ヶ月）を比較し当商工会員より回答いただいたものです。

有効回答数	建設業	製造業	運輸業	卸小売業	サービス業	その他
135	34	19	13	25	35	9

※その他は、回答数が少なかった不動産業、金融保険業、飲食業、農業

### 1. 売上高はどう変化したか。

増加	13
やや増加	22
不変	36
やや減少	28
減少	35
無回答	1
合計	135

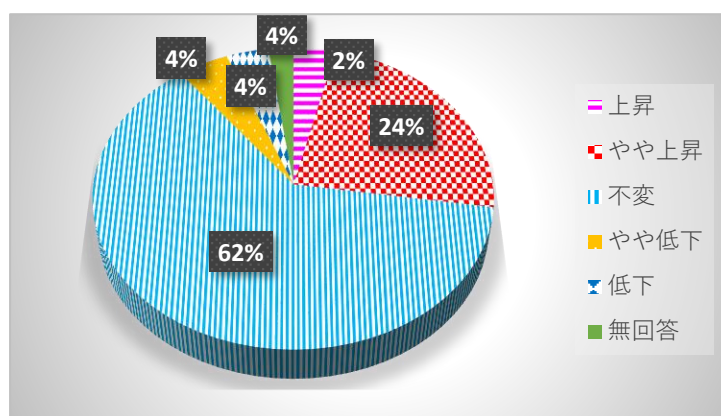


#### 【コメント】

- 増加・やや増加が25.9%、不変が26.7%、やや減少・減少が46.7であった。前期は、増加・やや増加が23.7%、不変が27.9%、やや減少・減少が47.5%であり、若干改善傾向が見られる。
- 増加・やや増加の業種別割合は、卸・小売業が40.0%、建設業が26.5%、サービス業が22.9%、製造業が15.8%であった。
- やや減少・減少の業種別割合は、運輸業が76.9%、製造業が68.4%、卸・小売業が40.0%、サービス業が37.1%、建設業が35.9%であった。
- 卸・小売業は、増加減少ともに40%で二極化となっている。

### 2. 仕入単価はどう変化したか。

上昇	5
やや上昇	32
不変	84
やや低下	6
低下	5
無回答	3
合計	135

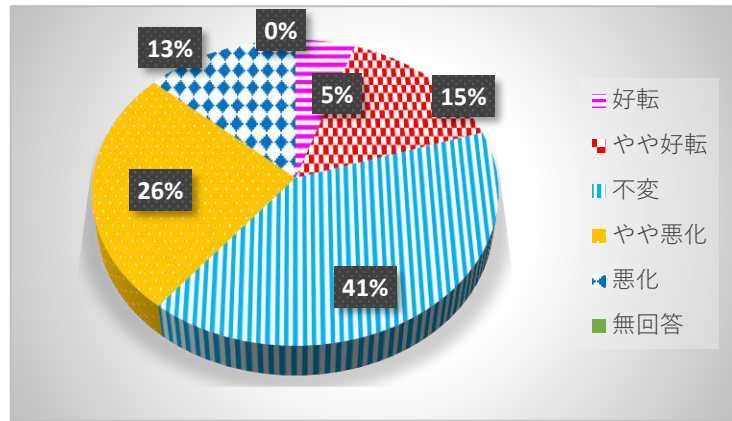


#### 【コメント】

- 上昇・やや上昇が27.4%、不変が62.2%、やや低下・低下が8.2%であった。前期は、上昇・やや上昇が33.9%、不変が55.9%、やや低下・低下が7.6%で仕入単価は平均すると上昇傾向は鈍化している。
- 上昇・やや状況の業種別割合は、卸・小売業が32%、運輸業が30.8%、建設業が29.4%、製造業が26.3%、サービス業が14.3%であった。

### 3. 採算について

好転	7
やや好転	20
不変	55
やや悪化	35
悪化	18
無回答	0
合計	135

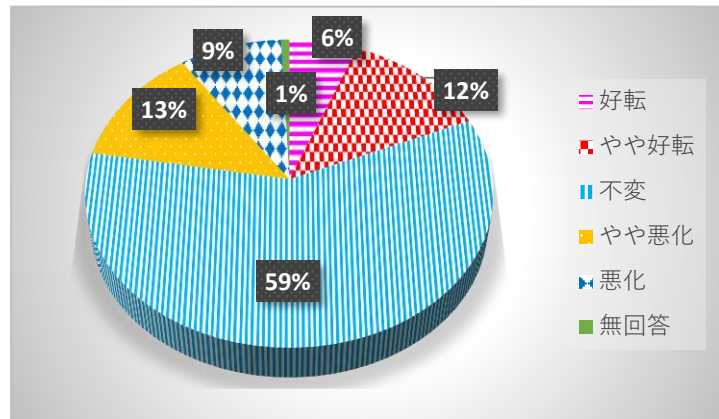


#### 【コメント】

- 好転・やや好転が20.0%、不変が40.7%、やや悪化・悪化が39.3%であった。前期の好転・やや好転が18.6%、不変が38.1%、やや悪化・悪化が42.4%で多少改善傾向が見られる。
- やや悪化・悪化の業種別割合は、運輸業が76.9%、製造業47.4%、サービス業が34.3%、建設業が31.4%、卸・小売業が20.0%であった。

### 4. 資金繰りについて

好転	8
やや好転	17
不変	80
やや悪化	17
悪化	12
無回答	1
合計	135

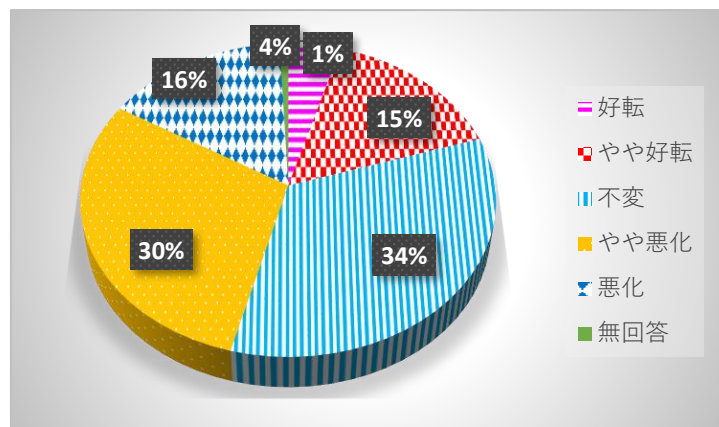


#### 【コメント】

- 好転・やや好転は18.5%、不変が59.3%、やや悪化・悪化が21.5%であった。前期の好転・やや好転が16.1%、不変が57.6%、やや悪化・悪化が23.7%であった。売上高の増加、採算性の好転が資金繰りに好影響を与えている。
- 資金繰り悪化の割合が高い業種では、運輸業が46.2%、製造業が26.3%、建設業が20.6%であった。

### 5. 業況について

好転	6
やや好転	21
不変	46
やや悪化	40
悪化	21
無回答	1
合計	135



#### 【コメント】

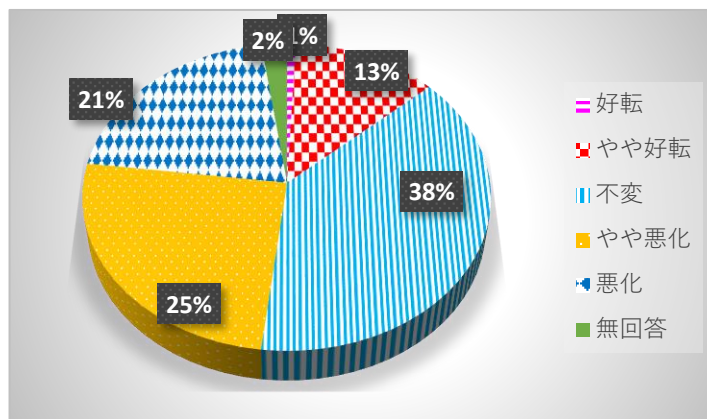
- 好転・やや好転は20.0%、不変が34.1%、やや悪化・悪化が45.2%であった。

前期は、好転・やや好転が20.3%、不変が34.7%、やや悪化・悪化が43.2%で前期とほぼ同様。

- やや悪化・悪化の割合が高い業種は、運輸業が69.2%、製造業が57.9% サービス業が42.9%、建設業が32.4%であった。

## 6. 今後3ヶ月間の業況について

好転	1
やや好転	17
不変	52
やや悪化	34
悪化	28
無回答	3
合計	135



### 【コメント】

- 好転・やや好転が13.3%、不変が38.5%、やや悪化・悪化が45.9%で、前期は好転・やや好転が20.3%、不変が39.0%、やや悪化・悪化が39.8%であった。
- 前期と比較すると、やや悪化・悪化と答えた方が増加し、好転・やや好転と答えた方は減少している。新型コロナウイルス感染症の長期化により今後悪化すると予想下方が増えた。

## ■回答事業所からのコメント

### 【建設業】

- ・ ボールパークの関係で多少増加したが、一時的なもので将来的には不安が残る
- ・ コロナの影響で工事受注が例年より7割ほどダウンしている。元請業者が飲食業の工事が多いため、これからも売上が伸びるとは考えにくい
- ・ 建設業は比較的コロナ等の影響は受けておりません
- ・ 今まではあまり影響はなかったが、春先が見えない。とりあえず1月は仕事休み、今の現場を春までもたせていく予定
- ・ ボールパーク関連(市発注)の工事の受注が7~11月であり、今年3月までの工期の為、今現在施行中、3月迄忙しい状態が続く。また、除雪についても昨年同様の受注
- ・ コロナ禍のため状況にばらつきがあるので今後の見込みが見えてこない状況
- ・ 売り上げは減少したが、今のところコロナの影響は受けていない。2020年度は比較的安定していた
- ・ 材料ストップで現場が動かなく売上を上げることができなかった。注文書が後半(10~12月)に伸びた
- ・ コロナ感染拡大が収まらない中で、消費者の購買意欲低下が懸念される
- ・ コロナ禍で企業も一般も低迷している影響がゆっくりと広がっている感じがする
- ・ コロナによる影響は現在はあまりみられないが、今後は不安
- ・ コロナの影響で不況・外溝工事にお金を掛けないお客様が増えた。問い合わせが減少
- ・ コロナ感染者数に比例して建設現場でも人数制限や時間短縮により仕事がうまく回らず売り上げが下がっている
- ・ 元請で感染の疑いの人が出て現場がストップし結局陰性と結果が出た後も念のためと自粛ムードで濃厚接触者でもないのに現場の全員が3日間自宅待機を命じられた。従業員の雇用調整助成金の申請できるが、会社にも何か助成がないとなかなかきつい

## 【製造業】

- ・ コロナによる先行不安によってだと思っています
- ・ コロナと特異的な業界の影響
- ・ 令和元年は大型物件受注により売上UP。令和2年は大型物件無く売上減少。1工務店廃業により売上減少
- ・ 不需要期になるため物件が少ない
- ・ 油脂類の値上がり。今後、カーボンニュートラルへの新たな取り組みが重要
- ・ 弊社はアルコール消毒液を製造しており、増産および売上が高止まりしています。今後においてもワクチンや治療薬が承認されるまでは継続すると思われま
- ・ 第3四半期は新型コロナウイルス感染症の影響により売上が減少した。一方で、同期は受注に関して改善が見られたため、今後3か月間は、前年対比でも売上増が見込めている
- ・ 新型コロナウイルスの間接的な影響による一般の風邪薬消費に減少が生じ、業況は厳しい予想となる
- ・ 受注機会の減少と人材不足及び社員の高齢化による能力の低下
- ・ 民間の建設は低く推移しているようで、今年の前半はあまり見込めない感じ。昨年からの案件が伸びたことでうまっている

## 【運輸業】

- ・ 原因は特にない。例年どおり
- ・ 北海道にも緊急事態宣言が発動すると、経済状況も変化していくことが推測される
- ・ GOTOキャンペーン効果でやや好転の兆しがあったが、キャンペーンの一時中止とともに今後は悪化が見込まれる
- ・ コロナ感染拡大により売上減少
- ・ Q2.につきましては、コロナの影響により全く仕事がありません。Q3.仕事がないので仕入の単価も出てきません。Q4.同じく。Q5.銀行等の借入で対応せざるを得ません。Q6.業況につきましては、今後の状況により悪くなるかも。Q7.現在としては、先が見えない状況であります
- ・ コロナの発生でとても悪化している。従業員も不安げ、対策をしようにも目に見えるものではないのでもどかしいです。この先、不安しかない。
- ・ コロナの件で外国人客が来日しなくなった為、インバウンドを主に仕事をしていたバス会社なので、バスが動かず悪化している
- ・ イベントなどが中止になったので現場にレンタルハウスや備品など配送することができなくなった。コロナが収束するまで我慢するしかないのが現状
- ・ コロナの影響によるテレワークで事務用品等の購入が減り、お得意様から配送依頼がまったくなくなったことで売り上げの減少になっているのが現状

## 【卸小売業】

- ・ コロナ禍の影響で、建築系の業者様の大量購入は減っている状況ですが、個人のお客様でDIYなどで使用する木材などの販売が好調だったため、10月～12月は前年よりも売上を伸ばすことができました。ただし、今後この状況がいつまで続くかは不透明であり、当社としては業者の方が資材購入していただかないと厳しい状況になることも考えられるため、不変（横ばい）としました
- ・ 5月～7月頃の状況（顧客の廃業、花農家等の売上減少による材料の受注減少）に比べると少しは回復の傾向ですが、売上高では大幅な減少です。外注費を抑えて利益の確保に努めております。働き方改革とは真逆な方法でしか利益の確保は難しい状況です
- ・ 海外オークション閉鎖のため建設機械が販売できない。運送業界もトラック増車（中古含む）がなく、中古車も売れない
- ・ 認知度が上がってきたと思います
- ・ 10～12月はたまたま利益の出る商品を仕入れることができたので売り上げ、利益とも上がった。1～3月はもともと売り上げの少ない月なので比較できないが、前年よりは悪化と思われる
- ・ 前年同期より行政の発注がずれ込み10～12月に集中したため売り上げ増になった

- ・ 売り上げ高減少は顧客のコロナによる入マインドの低下が考えられる
- ・ コロナで少しずつ悪くなっている
- ・ 春から夏にかけての時期はコロナの影響がまともにあったが、それが若干落ち着いてきた感じがあった。しかし、ここ最近の感染拡大で、この先はやや悪化すると思われる
- ・ コロナ禍において客先の売り上げがこの3か月間は減少に転じ、発注件数が減少に転じたものと思われる。今後も件数及び発注金額が圧縮するものと思われる
- ・ 昨年までの営業努力。今後コロナ禍で通常の営業ができるのか不安
- ・ 消費の冷え込みは長引くと思うので、必要なものを必要な分だけ・・・
- ・ WEB STOREを立ち上げたこと。アイテムが幅広いので、当初予定していたカフェが稼働できずにいたが比重を変えたこと、WEBとライブ配信に力を入れたことがコロナ禍でお客様と距離を縮めることができた。予約制にて見込んでいた来店数より減っているが、質の良い接客ができるのはよかった
- ・ 新型コロナウイルスの早期終息
- ・ コロナの影響でイベント等の中止により特注注文が減少

## 【サービス業】

- ・ コロナ第3波の影響で、一時回復傾向にあった客足が再び遠のいた
- ・ 高齢者がコロナを気にして外出の機会が減り、利用者の数が減った
- ・ イベントの中止によるオーダーの減少
- ・ ゴルフ場はOutdoorの認識により、秋には回復傾向となりました。そのまま11月末に根雪となり2020年シーズン閉幕となっています。お客様人数は、上記のとおり春よりは回復基調ですが、インバウンド、国内旅行ゴルファー激減により売上は大きく落ち込んでいます
- ・ 本州の製造業（比較的大手）が顧客であるが、世界的停滞の影響で設備投資や研究開発にブレーキがかかっている。このトンネルを抜けると受注が増えると考えているが、それがいつになるか見えない点が不安である。なお、道内の顧客開拓も行っている
- ・ 建設業の動向に左右されるため、冬期の官庁工事減少が大きく影響しそうです
- ・ 比較的プレミアム商品券の利用客は多かったが、実施期間も終わるので今後3月は少し目減りする感がある
- ・ コロナの影響が多少あり（対前年比）
- ・ コロナが続く中、来店していただき、有り難く思っています。今年は、まだ（やや悪化）わからないと思っています
- ・ 高齢者の認知症予防教室に関しては、需要が見込めない状況に変わりはないのですが、幼児、児童向け教室に関してはコロナの影響により、学校の休業等による学習の遅れを取り戻す意味と集中力を高める意味での需要が高まっている感じで、業績向上になっている。今後は更なる新たな展開を検討したい
- ・ ボールパーク建設の波及効果と考える
- ・ 売り上げ増でも必要経費がアップ、作業効率ダウン
- ・ 市内福祉サービスの中の児童デイの事業所が増えたため利用者の減少
- ・ 受注減少(コロナの影響)
- ・ 春先から夏にかけて自粛していた反動が8月以降表れて売り上げ増になった
- ・ 今年はコロナの影響が顕著に表れ、取引先の倒産等危惧している
- ・ 感染症対策に伴う在宅勤務に関する関係規則見直しの受注増
- ・ ①弊社の顧客は東京と海外の企業であり、技術力に応じた価格による契約を締結しているのでコロナの影響を受けることはなく前年と同水準の実績を維持している。②協業している外注業者者首都圏在住であり、仕入れ単価については技術力により評価・契約を実施しているので前年と同水準で推移している。③今回の調査対象期間外ではあるが2021年4月以降の受注は増加する見込みとなっている
- ・ 1年ほど前から経済環境は悪化しており、市内の企業は広告を行って攻めの商売をする気運が失われているものと思われる（3か月間の対前年比平均-25.6%）
- ・ 期間の決まっている委託業務の為大きな変化なし

## 【飲食業・不動産業・農業】

- 宴会、会議、他全ての行事が中止となり、売上は上がりません
- コロナの影響による外食産業の低迷で米がかなり余っている。民間在庫が多く、今年の米価下落が心配（弊社も例年より多く在庫を持っているため、R3.7月頃の米価によっては損害がでそう
- 新しい店舗オープンの為業況が伸びた
- 今後のコロナの状況が長引くようで将来予測として大変暗いと思う
- 客数減
- コロナの影響が大きい。忘年会・新年会など大人数での利用がゼロ。店自体も16時までの営業を継続せざるを得ない状況。以前のように18時・21時迄営業時間を延ばしていきたい
- 期間中の精神的なものは誰しもだと思うが、正直にどう対応したらよいか判らない